事例No.	1782
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	三重県いなべ市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

農業集落排水の公共下水道（流域下水道）への編入・接続

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【三重県いなべ市】
農業集落排水の公共下水道（流域下水道）への編入・接続

広域化等　下水道事業

三重県いなべ市水道部下水道課

● 取組の概要

今後の人口減少に伴う有収水量の減少、施設の老朽化による更新需要の増大などの課題に対応するため、農業集落排水処理施設を公共下水道に編入・接続した。

◆総事業費　建設改良費660,000千円

◆背景

- 三重県いなべ市は12地区の農業集落排水処理施設を有しており、老朽化による施設の更新に多額の費用が見込まれ、また、汚泥処分等の保守管理業務を委託しており、多額の委託費が発生していた。
- これらの課題を解決するため、12地区ある内の4地区（中里南部、貝野川右岸、東貝野及び十社南部）の農業集落排水地区を北勢沿岸流域下水道（北部処理区）へ編入・接続することとした。

◆具体的内容

- 上記の農業集落排水処理施設を廃止し、公共下水道までの管きょを整備することで、公共下水道を介し、北勢沿岸流域下水道（北部処理区）へ編入・接続する。
- 旧農業集落排水処理施設は、停電時や災害時などの不測の事態の貯留池として有効活用することとした。

◆効果

- 上記の農業集落排水処理施設を廃止し、北勢沿岸流域下水道（北部処理区）で汚水処理を行うこととしたため、上記の農業集落排水処理施設における更新費及び汚泥処分委託費など維持管理費が削減される（820,000千円/50年）。

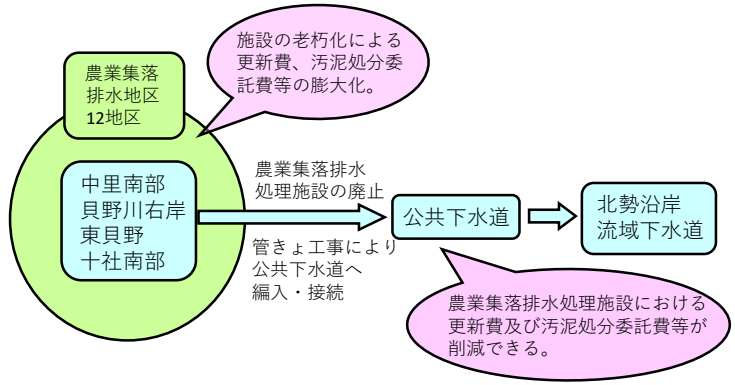
● 取組のポイント

- 管きょの新設等に係る費用を考慮してもなお、編入せず現状維持とした場合に比べて事業費を軽減できる見込みとなったため、実施を決定した。
- 円滑に事業統合を行うため、調整役となった県からの助言を受けながら、基本計画及び実施設計を策定した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　44,919人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　219.83km²（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　43,996人（令和4年4月1日時点）

編入する処理区の相関図



● 取組のスケジュール

- 平成21年度に検討を開始し、平成28年度に詳細設計、平成29年度に工事着工。
- 中里南部地区は平成31年4月1日、貝野川右岸地区は令和4年4月1日に供用開始。

● 今後の展望

- 東貝野地区は令和6年4月1日、十社南部地区は令和9年4月1日の供用開始を目標に、管きょの整備等を行う。
- 厳しい財政状況下においても安定した下水道事業の運営を可能とするため、更なる営業費用の抑制（不明水対策等など）を検討する。